

68 ヨハネ 21 章 1-14 節

今日の箇所は、エルサレムからずっと離れたガリラヤ湖でのイエスさまとの再会です。そこに行くこと、そこで会うことは、イエス様の指示でもありました。マタイ 26:32、28:10

1、このヨハネ 21 章では、どこの湖（湖畔）で再びイエス様をご自分を示されたとありますか。(1)

◎この湖はいろんな呼び名があります。書き出してみましよう。

・(1) ・(マタイ 4:18) ・ルカ 5:1 ・ヨシュア 13:27

※これらは皆同じ湖を表しています。ガリラヤ湖というのは、ガリラヤ地方に由来しています。ユダヤに移る前は、このガリラヤ湖周辺の町々がイエス様の伝道の拠点でした。「ティベリア湖」というのは、ローマ帝国統治時代に用いられた呼び名に由来します。「グネサレ湖」というのは、湖の西側にある平原地帯の名でアラビア語の呼び名です。「キネレテ湖」というのは、本来のヘブル語読みです。

2、ここに集っていた弟子（使徒）たちは 11 人ではなかったようです。何人ですか？

※他の弟子（使徒）たちはどうしていたのでしょうか？やはりイエス様はよみがえり、生きているという証はあっても、目に見えるリーダーがいなくなかなかまとまりが取れないのでしょうか？ここで再びイエス様をご自分を現わしてくださったというのに…もったいなばかりです。でもその後には 11 人はガリラヤに集結し、イエス様が指示された山に上り、そこで主と会って礼拝したようです。(マタイ 28:16)

ちなみに豆知識として、この「ほかに二人の弟子」とは、ピリポとアンデレではないかと言われています。

3、ここで元漁師であったペテロの「わたしは漁に行く」の言葉でみんなで小舟に乗り込んだとあります。

・ペテロにとってこれは約 3 年ぶりの漁師の業です。その結果はどのようなものでしたか？ (3)

※ペテロやゼベダイの子ヤコブとヨハネはどのようにして漁師をやめたのでしょうか (マタイ 4:18-22)。あの時の彼らの心境と、この「わたしは漁に行く」と言っ、皆も一緒に行った…を見て、彼らの心境を考えてみましょう。(ある学者はこの時ペテロは伝道者としての生活をやめ、元の仕事に戻ろうとしていたのではないかと言っています。また他の人は、その日の食料を求めて漁に行っただけだという人もいます。はっきりしたことは分からないにしても、人間をとる漁師になっていた彼らが元の漁師のようなことをしていたという事は確かです。)

4、そんな彼らによみがえりのイエス様は現れて下さったのです。

◎夜明けごろ、疲労こんぱいの彼らに、岸の方から「子どもたちよ、食べる魚がありませんね」と語りかけてくる声がありました。下記のことを考えてみましょう。

・彼らはその声に何と答えましたか？ (5)

・弟子たちはその声の主がイエスさまだと気付いていましたか？ (4)

・岸から湖の上、船に乗っている彼らに語りかけた声はどれほどのものであったと想像できますか？

・そして岸では、イエス様が炭火を起こし、その上には魚、またパンがあったというのです。(9)

※ここまでのところからイエス様ってどんな方だと思えますか？

あなたや私にとってもイエス様はそのようなお方です。

◎イエス様は、彼らに言われました「船の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れます」と…そのように実行したら、なんと網を引き揚げる事が出来ないぐらいの大漁となったのだ。…いつか同じようなことなかったですか？（ルカ 5:1-9）

・ここで初めて彼らは気付くのです。「主だ」…

人のふりを見ていると面白いぐらいに、「何で気付かないかな？」と思ってしまうものですが、自分はどうでしょう。何か似たような体験ないでしょうか？

5、「主だ」という声を聞いて、ペテロは不可思議な行動をとります。「裸に近かったので上着をまとい、湖に飛び込んだ」これにどんな彼なりの心境があったと思いますか？

※200ペキスの距離は、メートルで言うと、約90メートルです。

※ペテロは泳いでイエス様がおられる岸に行き、他の弟子たちは、網が破れそうぐらいの大漁の魚をもって岸に行きました。網は不思議と破れなかったとあります。ここにも神様のご介入の証が見られますね。

6、そこでイエスさまが言われた言葉は何でしたか？（12）

※イエス様は十字架の出来事、また弟子たちのしたことなど何もなかったかのように接して下さるのでした。なんとなく、気まずい雰囲気漂う中の朝食となりました。これがイエス様ご自身を現わされた3度目という事です。今もイエス様は、失敗し、罪を犯し、疲れ果て、がっかりしているすべての人に、この様に語りかけ、招いてくださっているのです。（I テモテ 2:4, II ペテロ 3:9）

今、失敗し、罪を犯し、疲れ果て、がっかりしている方、このよみがえりの主イエスにすがり祈りましょう。

7、このところから神様（父、子、聖霊）はどのようなお方であるとわかるでしょうか。